

自己学習能力を育てよう

「学習の3段階理論」を使って結果の出せる勉強方法を身に着けよう

小学部

英検5級

飯 竹 麻 衣

◆テキストの学習も終わり、いよいよ「英検5級対策」としての実践練習が始まります。確実に合格を勝ち取るために、次のことを行いましょう。まずは、テキストに載っているターゲットやプラクティスの音読練習です。QRコードを読み取る音声で聞けますから、そのまねをして読んでみましょう。そのときに、イラストや書かれている英語を見ながら音読すると、試験のときに大いに役立ちます。

英検4級

谷 田 貝 友 紀

◆テキストの勉強が一通り終わりました。今日は、「英検4級対策」としてやるべき二つのことをお話します。一つ目は、テキストの音読です。英検4級ではライティングは出題されません。英語を読めたり、聞いたりする力が問われます。声を出してテキストを読み、意味がわかるように練習しましょう。もちろん、書ける方がよいので、覚えていない単語や基本文は書く練習もしましょう。

◆二つ目は、過去問の演習です。本番は筆記試験が35分、リスニングテストが30分弱で行われます。授業中に過去問を演

英検3級

原 田 和 明

◆今日は、「英検3級対策」を行います。英検3級は、4、5級とは違い、ライティングが加わります。また、2次試験では面接形式のスピーキングがあり、4技能が問われる試験になります。英単語や長文のレベルも上がりますので、きちんと対策をしていきましょう。

◆まずは、塾のテキストを見直してください。わからない単語があればすぐに調べて覚えましょう。その際は、意味だけでなく発音も確認しておくことリスニング対策にもなります。ライティングはEメールに返信する問題と、質問に対する意見を書く問題が出題されます。過去問などで練習し、先生に添削してもらってください。また、時間配分も大切です。過去問演習などで時間の感覚をつかんでください。合格を目指し頑張らしましょう。

小5算数

井 腰 征 夫

◆今日は、「割合」について説明します。割合とは、ある数量を基準にしたとき、他の数量がどれだけ当たるかを表した値です。割合を「理解」するには、比べる量と、もとにする量を区別できることが大切です。例えば、500円をもとにしたとき、200円の割合を求めることを考えます。 $\frac{200}{500} = \frac{2}{5}$ と求めら



小5国語

稲 垣 幸 生

◆今日は、「和語・漢語・外来語」について、それぞれの区別と特徴を学習します。和語は、もともと日本にあった言葉で、漢字やひらがなで書かれており、訓読みをすることが多く、読みやすくわかりやすい印象を受けます。漢語は、中国から入ってきた言葉で、漢字で書かれており、読みをします。和語と比べると、かたい(難しい)イメージです。外来語は、外国から入ってきた言葉で、かたかなで書かれて入って新しい言葉の印象を受けます。

小6算数

寺 内 大 智

◆今日は、「角柱と円柱の体積」を学習します。重要なことは、体積の公式を覚えるようにすることです。体積は「底面積×高さ」で求められます。底面の形によって、底面積の求め方が違いますので、注意しましょう。四角形は「底辺×高さ÷2」、三角形は「底辺×高さ÷2」、円は「半径×半径×π」で求められます。円周率πを用いた小数の計算です。計算演習をして、「定着」を図ってください。不安な人は、平面図形の面積を求めることから復習しましょう。

◆また、計算する数値の意味を図形と対応させながら解くと、より「理解」が深まります。展開図からイメージできないと

きは、実際に自分で紙を使って作ってみましょう。

小6国語

熊 谷 健

◆今日は、「同じ読み方の漢字」を学習します。漢字の読み方で、「演」と「園」のように、「えん」と同じ読みでも、意味が異なる漢字がいくつもあります。このような漢字を書き分けるためには、その漢字が使われている熟語の意味を「理解」することが大切です。「演」ならば、「演技」や「演説」、「園」ならば「農園」や「田園」といった熟語があります。「コウエン」とあれば、「講演」や「公園」公演などがありますが、読みだけで正しい漢字を書くのは難しいです。「コウエン」で遊ぶ。「公園」と答えられるようにしましょう。

中学部

中1英語

桜 井 和 弘

◆今日は、「規則動詞の過去形」を学習します。「私は昨日ギターをひきました。」は、「I played the guitar yesterday.」と表します。このように過去のことを言う時には、動詞にedを付けます。edを付ける時に注意するものは、①eで終わる動詞にはdだけ付ける (like→liked)、②語尾が短母音+子音の場合は最後の文字を重ねてedを付ける (stop→stopped)、③語尾が子音+yのものはyをiに変えてedを付ける (study→studied)、があります。疑問文と否定文は、「did you play the guitar yesterday?」「I didn't play the guitar yesterday.」のように表します。

◆yesterday, last, agoのような過去を表す語句がある時には、動詞を過去形にするのを忘れないように気を付けましょう。